

「家庭学習スタンダード」の活用実践事例

受け身の学習を主体的な学習に変える ～自己マネジメント力の向上を目指して～

いわき市立磐崎中学校（パイロットⅠ）
いわき市立磐崎小学校（パイロットⅡ）
いわき市立藤原小学校（推進協力校）

新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」を実現させるためには、授業ばかりではなく、主体的な学習に必要な「予備的な知識」「基礎的な知識や技能」「自ら学ぶ学習」を家庭学習の力を借りて、身に付けておくことが大切だと考える。

取組のねらい

家庭環境の変化により、スマートフォン、ゲーム、インターネットなどのメディアが波及し、家庭で学びにくい環境になってきている。そのような中で、児童生徒の家庭学習を充実させるには、自らを律して自己の生活や学習を改善する力や、自己の特性に応じた家庭学習の方法を見つけ出し、実行する力、家庭での学習の環境づくりや、心の支えが重要であると考え、地域の3校で取組を行っている。

取組の内容

○パイロットⅠとしての取組み（磐崎中）

地域の小学校（磐崎小 藤原小）と連携した取組

（1）「家庭学習のてびき」の配付と活用

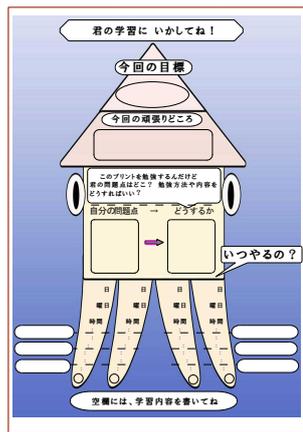
○小学校、中学校それぞれの実態にあったものを作成し、家庭に配付するとともに、学級、教科での学習指導に用いた。

（2）「ステップアップテスト」の実施

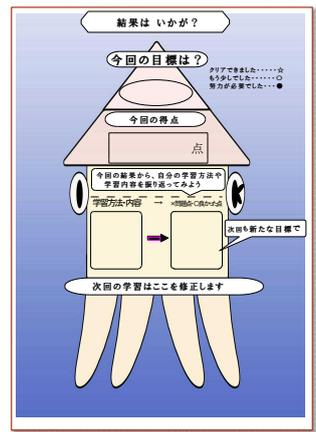
① 3校で合同の（英、数、国）10分間テストを実施
（内容は小、中の状況に合わせ、多少変更している）

② 学習の習慣を付けと、自己マネジメント力を高めようと、ステップアップテストを用いて、R-PDCAサイクルを意識づけるプリントを用いた。（下記参照）

ステップアップテスト 数学Ⅱ第 練習問題	
年 組 番	氏名
次の計算をしなさい。	(1) $100 - 1$ 点 31-40(-2)点
1 $(-4) \times (+5)$	16 $(-7)^2$
2 $(+2) + (-18)$	17 -7^2
3 $(+9) + (-9)$	18 $15 + (-3)$
4 $(-13) + (-7)$	19 $(-50) \div 7$
5 $(-12) \times (+4)$	20 $(-30) \times (-2)$
6 $(-9) \times (-6)$	21 $3a + 2a$
7 $(-9) - (-2)$	22 $-2a + 5a$
8 $(+7) - (-6)$	23 $7a - 2a$
9 $(+2) - (+10)$	24 $-5y - y$
10 $(-4) - (-4)$	25 $7 \times 3a$
11 $(-4) - (-11)$	26 $-2 \times (-3a)$
12 $0 - (-3)$	27 $12a \div 3$
13 $(-7) \times 6$	28 $7a \div 3 - 5a - 6$
14 $(-3) \times (-16)$	29 $(3a + 2) + (6a - 5)$
15 $\frac{2}{3} \times (-\frac{5}{6})$	30 $9 \times (-2)^2 - (-8)$
	40 $25 \div 3 - 3(2 - 1)$



ステップアップテスト 数学Ⅱ第 50点	
年 組 番	氏名
次の計算をしなさい。	(1) $100 - 1$ 点 31-40(-2)点
1 $(-4) \times (+5)$	16 $(-7)^2$
2 $(+2) + (-18)$	17 -7^2
3 $(+9) + (-9)$	18 $15 + (-3)$
4 $(-13) + (-7)$	19 $(-50) \div 7$
5 $(-12) \times (+4)$	20 $(-30) \times (-2)$
6 $(-9) \times (-6)$	21 $3a + 2a$
7 $(-9) - (-2)$	22 $-2a + 5a$
8 $(+7) - (-6)$	23 $7a - 2a$
9 $(+2) - (+10)$	24 $-5y - y$
10 $(-4) - (-4)$	25 $7 \times 3a$
11 $(-4) - (-11)$	26 $-2 \times (-3a)$
12 $0 - (-3)$	27 $12a \div 3$
13 $(-7) \times 6$	28 $7a \div 3 - 5a - 6$
14 $(-3) \times (-16)$	29 $(3a + 2) + (6a - 5)$
15 $\frac{2}{3} \times (-\frac{5}{6})$	30 $9 \times (-2)^2 - (-8)$
	40 $25 \div 3 - 3(2 - 1)$



<練習問題 表 裏>

<テスト 表 裏>

○パイロットⅡとしての取組（磐崎小）

（1）「家庭学習の手引き」の改定・配布

① PTA総会や学級懇談会で取り上げ、保護者に見方や使い方を伝えた。

② 「家庭学習のスタンダード」の縮刷、目安となる学習時間、自学例などを掲載した。

③ 「おうちの方へのお願い」として、「習慣づくり」「心の支え」「環境づくり」の3つの観点から発達段階に合わせたメッセージを盛り込んだ。

- (2) 家庭学習の振り返り
 - 「自分をコーディネート！ちょっと苦手を克服週間」
推進協力校の藤原小と共同実施。学期に1回実施した。
- (3) ノーメディアデーの実施
 - 毎月3回実施（10日、20日、30日）



○推進協力校としての取組(藤原小)

- (1) 「家庭学習の手引き」「家庭学習スタンダード」の配布
 - 授業参観において、家庭学習への取組について説明した。
- (2) ノーメディアデーの実施
 - 毎週水曜日にノーメディアデーの呼びかけを実施した。
- (3) 2学期に「家庭学習頑張ろう週間」の実施
 - ① 下学年→毎日の宿題や学習準備ができていないか 1,チェック 2,実践 3,振り返り
 上学年→自己マネジメント力を高めるために 1,学習時間と自分の課題の見直し
 2,課題解決に向けた計画 3,教師の支援 4,実践 5,振り返り (R-PDCA)
 - ② 成長段階に応じたワークシートを用いて実践する。「家庭学習スタンダード」後の個別懇談で保護者と家庭学習の取組の様子について話し、家庭との連携と習慣化を目指す。
- (4) 自主学習のノートのコピーを学年便りに載せ、保護者への啓発をしている。また、学級内に掲示することで、児童たちへも紹介している。
- (5) 自主学習ノート（1冊終了したもの）を教室内に展示し、児童たちが互いに見て、参考にできるようにしている。

実践して見えてきたこと

○パイロットI(磐崎中)

<成果>

- (1) 家庭学習を充実させる取組として、教科によっては、週末課題を出して休みの日の学習時間を確保した。
 各学級毎日自主学習を1ページ取り組ませ、毎朝提出させている。
 これらの積み重ねにより、生徒の自主的な家庭学習の習慣を形成するのに、効果を見せている。
- (2) 「ステップアップテスト」の実施により、基礎学力の向上と、「家庭学習の取り組み方」についてR-PDCAサイクルをもとに意識づけができた。

<課題と次年度に向けて>

- (1) 家庭学習の充実と「家庭学習スタンダード」「家庭学習の手引き」の活用
 各家庭に「家庭学習のスタンダード」「家庭学習の手引き」は配付済みだが、それだけでは効果を望めず、家庭でもその存在が忘れられている状況である。
 各学年、各教科で、生徒へのオリエンテーション時ばかりでなく、**通常の授業(教師も生徒も、日常的に活用する)**でも、R-PDCAサイクルを意識した取組を行う。
- (2) ステップアップテストの取組について
 本校今年度の「ステップアップテスト」中学校の取組は、隔週10分間のテストのため練習問題をあたえて学習計画を立て、学習し、テストを受け、反省し、見直して次の学習に生かすプロセスを身につけさせようと実施した。今後はテストの内容や取り組ませ方、結果の生徒へのフィードバックの仕方などを考えたい。

○パイロットII(磐崎小)

<成果>

- (1) 「ノーメディアデー」や「自分をコーディネート！ちょっと苦手を克服週間」を設け、児童の心身によりよい家庭環境づくりを家庭に働きかけた。
- (2) 「学びのスタンダード」事業推進地域の現職交流会により、「家庭学習の手引き」の作成・配布と活用の呼びかけ、R-PDCAサイクル強化週間の実施など、自己マネジメント力の大切さと実践力の向上を図った。

<課題と次年度に向けて>

P T A総会・授業参観等で、「ふくしまの家庭学習スタンダード」事業について家庭に説明する機会は設けたが、12月に実施した学校アンケートの結果からは十分に活用されているとまでは言えず、家庭への発信の方法を再考する必要がある。

